



2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年5月9日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL <https://www.glico.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
 ファイナンス部長
 四半期報告書提出予定日 2022年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	65,420	—	4,076	△0.3	4,794	3.2	3,332	1.6
2021年12月期第1四半期	74,293	△4.8	4,088	18.0	4,646	19.5	3,279	27.3

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 8,878百万円 (△12.4%) 2021年12月期第1四半期 10,141百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	51.34	—
2021年12月期第1四半期	50.59	—

(注) 当第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、当該基準等を適用する前の前第1四半期連結累計期間の売上高に対する対前年同四半期増減率は記載していません。

なお、2021年12月期第1四半期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は2.7%増であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	358,401	246,953	68.8
2021年12月期	356,745	241,177	67.5

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 246,551百万円 2021年12月期 240,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	303,300	—	20,500	6.2	22,000	1.3	14,000	3.6	215.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しているため、当該基準等を適用する前の2021年12月期の売上高に対する対前期増減率は記載しておりません。なお、上記連結業績予想の売上高は、2021年12月期に当該基準等を適用したと仮定して算定した売上高（292,557百万円）に対して3.7%の増収となります。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）上海江崎格力高関発食品有限公司 除外 1社（社名）—

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年12月期 1 Q	68,468,569株	2021年12月期	68,468,569株
② 期末自己株式数	2022年12月期 1 Q	3,563,052株	2021年12月期	3,576,677株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年12月期 1 Q	64,898,836株	2021年12月期 1 Q	64,829,687株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、経営成績及び各セグメントにおける比較につきましては、2021年1月1日から2021年3月31日までの3ヶ月間を「組替後前年同期」として算出した参考数値と比較しております。

当第1四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年3月31日）における我が国経済は、一部持ち直しの動きがあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により依然として厳しく、また、不安定な国際情勢等のなか、原材料価格上昇や金融資本市場の変動等を注視する必要があり、不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、菓子・食品部門、乳業部門、食品原料部門は組替後前年同期を下回りましたが、冷菓部門、海外部門、健康カテゴリーを含むその他部門で組替後前年同期を上回ったため、当第1四半期連結累計期間の売上高は65,420百万円となり、組替後前年同期（63,676百万円）に比べ2.7%の増収となりました。

利益面では、売上原価率は、冷菓部門、乳業部門、海外部門等の売上原価率が上昇したことにより組替後前年同期に比べ1.1ポイント上昇しましたが、販売費及び一般管理費は、販売促進費及び広告宣伝費等が減少しました。

その結果、営業利益は4,076百万円となり、組替後前年同期（4,088百万円）に比べ11百万円の減益となりました。経常利益は、為替差益等により、4,794百万円となり、組替後前年同期（4,646百万円）に比べ148百万円の増益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,332百万円となり、組替後前年同期（3,279百万円）に比べ52百万円の増益となりました。

各セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

・セグメント別の概況

（単位：百万円、%）

セグメント	売上高				営業利益			
	前第1四半期 連結累計期間 (組替後前年同期)	当第1四半期 連結累計期間	対組替後 前年同期 増減額	対組替後 前年同期 増減率(%)	前第1四半期 連結累計期間 (組替後前年同期)	当第1四半期 連結累計期間	対組替後 前年同期 増減額	対組替後 前年同期 増減率(%)
菓子・食品	16,299	15,936	△362	△2.2	1,288	1,412	124	9.6
冷菓	14,004	14,193	189	1.4	△13	△456	△442	—
乳業	16,251	15,687	△564	△3.5	79	△121	△201	—
食品原料	2,278	2,253	△24	△1.1	215	251	36	16.9
海外	10,881	13,238	2,357	21.7	1,398	701	△696	△49.8
その他	3,961	4,110	148	3.8	168	385	217	129.5
調整	—	—	—	—	952	1,902	950	99.7
合計	63,676	65,420	1,743	2.7	4,088	4,076	△11	△0.3

(注) 調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

<菓子・食品部門>

売上面では、“プリッツ” “DONBURI亭”等は組替後前年同期を上回りましたが、“神戸ローストショコラ” “アーモンドピーク”等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,936百万円となり、組替後前年同期（16,299百万円）に比べ2.2%の減収となりました。

利益面では、販売促進費及び広告宣伝費の減少等により、営業利益は1,412百万円となり、組替後前年同期（1,288百万円）に比べ124百万円の増益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、“ジャイアントコーン” “アイスの実”等は組替後前年同期を下回りましたが、卸売販売子会社の売上高が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14,193百万円となり、組替後前年同期（14,004百万円）に比べ1.4%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は△456百万円となり、組替後前年同期（△13百万円）に比べ442百万円の減益となりました。

<乳業部門>

売上面では、“プッチンプリン”等が組替後前年同期を上回りましたが、“BifiXヨーグルト” “朝食りんごヨーグルト”等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は15,687百万円となり、組替後前年同期（16,251百万円）に比べ3.5%の減収となりました。

利益面では、減収及び売上原価率の上昇等により、営業利益は△121百万円となり、組替後前年同期（79百万円）に比べ201百万円の減益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、“Aーグル”等は組替後前年同期を上回りましたが、「ファインケミカル」「澱粉」等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,253百万円となり、組替後前年同期（2,278百万円）に比べ1.1%の減収となりました。

利益面では、売上原価率の低下等により、営業利益は251百万円となり、組替後前年同期（215百万円）に比べ36百万円の増益となりました。

<海外部門>

売上面では、地域別において、中国、ASEAN、米国等で組替後前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は13,238百万円となり、組替後前年同期（10,881百万円）に比べ21.7%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇に加え、販売促進費及び広告宣伝費の増加等により、営業利益は701百万円となり、組替後前年同期（1,398百万円）に比べ696百万円の減益となりました。

<その他部門(健康カテゴリを含む)>

売上面では、“アーモンド効果” “パワープロダクション”等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,110百万円となり、組替後前年同期（3,961百万円）に比べ3.8%の増収となりました。うち、健康事業においては、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,892百万円となり、組替後前年同期（2,789百万円）に比べ3.7%の増収となりました。

利益面では、販売促進費及び広告宣伝費の減少等により、営業利益は385百万円となり、組替後前年同期（168百万円）に比べ217百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は358,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,656百万円増加しました。流動資産は173,558百万円となり、5,067百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものです。固定資産は184,842百万円となり、6,723百万円増加しました。主な要因は、建設仮勘定、投資有価証券の増加等によるものです。

負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は111,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,119百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金、未払費用の減少等によるものです。

純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は246,953百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,775百万円増加しました。主な要因は、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等によるものです。

なお、自己資本比率は68.8%（前連結会計年度末比1.3ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、通期連結業績予想は、2022年2月14日の「2021年12月期 決算短信」で公表した数値から変更していませんが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う中国上海の工場操業面の影響等を精査する必要があると考えております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,026	97,648
受取手形及び売掛金	42,898	35,944
有価証券	219	228
商品及び製品	15,000	17,849
仕掛品	838	967
原材料及び貯蔵品	12,316	13,181
その他	5,409	7,825
貸倒引当金	△83	△87
流動資産合計	178,626	173,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,638	39,277
機械装置及び運搬具（純額）	30,374	29,654
工具、器具及び備品（純額）	4,132	3,988
土地	15,969	16,030
リース資産（純額）	697	2,007
建設仮勘定	10,268	14,079
有形固定資産合計	101,080	105,037
無形固定資産		
ソフトウェア	4,340	4,215
ソフトウェア仮勘定	11,020	12,287
のれん	391	407
その他	214	207
無形固定資産合計	15,967	17,117
投資その他の資産		
投資有価証券	41,627	42,878
退職給付に係る資産	4,340	4,488
投資不動産（純額）	12,213	12,245
その他	3,223	3,113
貸倒引当金	△334	△39
投資その他の資産合計	61,071	62,686
固定資産合計	178,118	184,842
資産合計	356,745	358,401

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,373	28,968
短期借入金	232	255
未払費用	25,293	20,931
未払法人税等	3,207	2,238
返金負債	—	6,924
販売促進引当金	4,106	—
役員賞与引当金	67	67
株式給付引当金	21	—
債務保証損失引当金	—	120
その他	6,848	6,608
流動負債合計	72,150	66,114
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	30,044	30,039
長期借入金	77	—
退職給付に係る負債	1,299	1,354
繰延税金負債	7,006	7,477
その他	4,988	6,461
固定負債合計	43,416	45,332
負債合計	115,567	111,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	9,959	9,959
利益剰余金	214,795	214,961
自己株式	△9,057	△8,987
株主資本合計	223,470	223,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,277	11,965
繰延ヘッジ損益	253	563
為替換算調整勘定	4,758	9,349
退職給付に係る調整累計額	1,030	966
その他の包括利益累計額合計	17,320	22,844
非支配株主持分	386	402
純資産合計	241,177	246,953
負債純資産合計	356,745	358,401

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	74,293	65,420
売上原価	38,720	40,486
売上総利益	35,573	24,933
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	7,051	5,989
販売促進費	7,907	1,909
販売促進引当金繰入額	3,296	—
広告宣伝費	1,795	1,385
退職給付費用	163	53
その他	11,270	11,519
販売費及び一般管理費合計	31,485	20,857
営業利益	4,088	4,076
営業外収益		
受取利息	83	91
受取配当金	45	24
為替差益	—	156
補助金収入	309	401
その他	513	677
営業外収益合計	951	1,351
営業外費用		
支払利息	6	16
為替差損	88	—
固定資産廃棄損	30	244
債務保証損失引当金繰入額	—	120
その他	268	251
営業外費用合計	393	633
経常利益	4,646	4,794
特別利益		
固定資産売却益	737	—
投資有価証券売却益	—	20
特別利益合計	737	20
特別損失		
投資有価証券売却損	40	—
特別損失合計	40	—
税金等調整前四半期純利益	5,342	4,815
法人税、住民税及び事業税	1,551	1,549
法人税等調整額	495	△74
法人税等合計	2,047	1,475
四半期純利益	3,295	3,339
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,279	3,332
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	7
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,243	687
繰延ヘッジ損益	490	310
為替換算調整勘定	2,954	4,291
退職給付に係る調整額	△2	△64
持分法適用会社に対する持分相当額	159	314
その他の包括利益合計	6,845	5,539
四半期包括利益	10,141	8,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,103	8,856
非支配株主に係る四半期包括利益	37	22

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年1月1日至2021年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への売上高	19,864	15,954	18,440	2,283	13,460	70,003	4,290	74,293	—	74,293
セグメント間の内部売 上高又は振替高	175	12	1	54	—	243	3,010	3,253	△3,253	—
計	20,039	15,966	18,442	2,338	13,460	70,247	7,300	77,547	△3,253	74,293
セグメント利益又は損失 (△)	1,288	△13	79	215	1,398	2,967	168	3,135	952	4,088

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額952百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額437百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等515百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自2022年1月1日至2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 3
	菓子・ 食品	冷菓	乳業	食品 原料	海外	計				
売上高										
外部顧客への売上高	15,936	14,193	15,687	2,253	13,238	61,310	4,110	65,420	—	65,420
セグメント間の内部売 上高又は振替高	191	8	1	55	—	256	2,667	2,924	△2,924	—
計	16,128	14,201	15,688	2,309	13,238	61,567	6,778	68,345	△2,924	65,420
セグメント利益又は損失 (△)	1,412	△456	△121	251	701	1,787	385	2,173	1,902	4,076

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門及びシステム保守開発事業部門を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額1,902百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額427百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等1,475百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

決算短信補足説明資料

-22年12月期 第1四半期決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

	21/12期 (1月-3月) 組替後	22/12期 (1月-3月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	63,676	65,420	1,743	2.7
営業利益	4,088	4,076	▲ 11	-0.3
経常利益	4,646	4,794	148	3.2
当期純利益	3,279	3,332	52	1.6

(2)営業利益の状況

単位：百万円

	21/12期		22/12期	
	(1月-3月) 組替後	売上比(%)	(1月-3月) 実績	売上比(%)
売上高	63,676	100.0	65,420	100.0
売上原価	38,720	60.8	40,486	61.9
売上総利益	24,956	39.2	24,933	38.1
運賃保管料	5,512	8.7	5,989	9.2
販売促進費	2,125	3.3	1,909	2.9
広告費	1,795	2.8	1,385	2.1
人件費・厚生費	6,825	10.7	6,987	10.7
経費・償却費	4,609	7.2	4,584	7.0
販売費及び一般管理費	20,868	32.8	20,857	31.9
営業利益	4,088	6.4	4,076	6.2

営業利益の増減要因	対21/12期 (1月-3月)	
	内 国内	
①売上高増減による増減益	638	▲ 200
②販売品種構成の変化等による増減益	208	156
③原材料価格変動による増減益	▲ 1,079	▲ 630
④運賃保管料比率変動による増減益	▲ 326	93
⑤販売促進費比率・広告費増減による増減益	684	1,130
⑥一般管理費増減による増減益	▲ 136	136
合計	▲ 11	685

(3)セグメント別売上高の状況

*以下のカテゴリー別売上高の数値については、管理会計上の集計数値です。

単位：百万円

セグメント	カテゴリー	21/12期 (1月-3月) 組替後	22/12期 (1月-3月) 実績	前年同期比	
				金額	増減率(%)
菓子・食品	チョコレート	8,726	8,123	▲ 602	-6.9
	ビスケット	4,317	4,454	137	3.2
	加工食品	2,885	2,975	90	3.1
	その他	370	382	11	3.2
	計	16,299	15,936	▲ 362	-2.2
冷菓		14,004	14,193	189	1.4
乳業	発酵乳	3,682	3,065	▲ 616	-16.8
	牛乳・乳飲料	4,873	4,739	▲ 134	-2.8
	果汁・清涼飲料	4,376	4,270	▲ 105	-2.4
	洋生菓子	2,313	2,592	279	12.1
	ベビー・育児	1,005	1,018	12	1.3
計	16,251	15,687	▲ 564	-3.5	
食品原料		2,278	2,253	▲ 24	-1.1
海外		10,881	13,238	2,357	21.7
その他	うち健康	2,789	2,892	103	3.7
	計	3,961	4,110	148	3.8
合計		63,676	65,420	1,743	2.7

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

セグメント	21/12期 (1月-3月) 組替後	22/12期 (1月-3月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
菓子・食品	1,288	1,412	124	9.7
うち 菓子	1,244	1,331	86	7.0
うち 食品	43	81	37	85.9
冷菓	▲ 13	▲ 456	▲ 442	-
乳業	79	▲ 121	▲ 201	-
食品原料	215	251	36	16.9
海外	1,398	701	▲ 696	-49.8
その他	168	385	217	129.5
調整	952	1,902	950	99.8
合 計	4,088	4,076	▲ 11	-0.3

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。

また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

	21/12期 (1月-3月) 組替後	22/12期 (1月-3月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	324	319	▲ 5	-1.5
営業利益	41	17	▲ 23	-56.3

◆ASEAN

単位：百万米ドル

	21/12期 (1月-3月) 組替後	22/12期 (1月-3月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	21	28	7	33.3
営業利益	▲ 1	▲ 1	▲ 0	-

※21年12月期1Qの実績は、22年12月期1Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

	21/12期 (1月-3月) 組替後	22/12期 (1月-3月) 実績	前年同期比	
			金額	増減率(%)
売上高	24	24	0	3.2
営業利益	9	6	▲ 2	-29.1

※米国については、連結ベースの数字です。